


four-sight





four-sight

刻々と移り変わるイメージを読み解こうとせずに、ただ受け入れること。

眼差しが求めるものを、貪欲に追求すること。

めまぐるしく更新される光のパルスを、身体で受けとめること。

理解する視点をいったん捨て、無垢な眼差しで対象を見つめ、

流動的で豊かなビジョンを感じとること。

眼に映るすべてのものを、心から楽しむこと。

日常生活において、「見ること」はそのまま「理解すること」を意味します。

眼に入るさまざまなものを単なる情報に置き換えてしまう……。

その瞬間、「もの」の回りに漂う、さまざまなイメージは切り捨てられてしまいます。

「理解すること」から離れ、「感じ取ること」へと意識を向けることができれば、

新しい発見があるはず。

「four-sight」ではいつも何気なく行っている「見る」という行為に、

少しだけ異なったアプローチを試みました。

Eyeball、Balance、Microscope、そしてClock。

これら4つのオブジェクトから生み出される不思議な光景 (four sights) ……。

画面いっぱいにあふれる光と色の粒子を受けとめてください。

すべてを見終わったとき、新しい発見 (foresight) をしたことによってきっと気が付くでしょう。



Eyeball

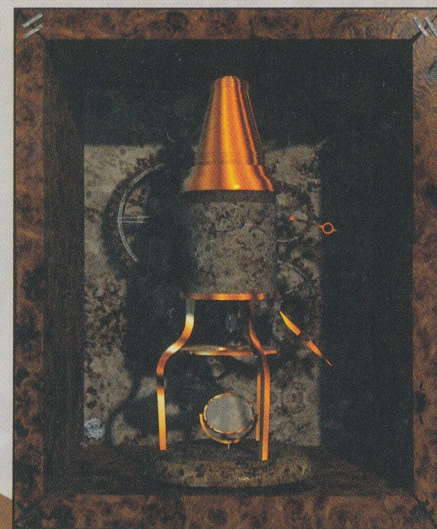
変容するイメージ
結合する光
ゆがんだパースペクティブ
交差する色彩
移動する対象
透明なビジョン
実像と虚像の逆転
Eyeball—直感のカレイドスコープ



Balance

成長と衰退
均衡と不均衡
振動と静止
融合と分離
具象と抽象
始まりと終わり
あらゆるものの対極の象徴
Balance—感覚のコンパス

four-sight



Microscope

対象の拡大
イメージの膨張
スケールの消失
ディテールの重層化
複雑な構造
曖昧な気配
現実との微妙なずれ
Microscope—知覚のマイクロコスモス



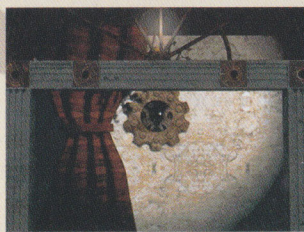
Clock

周期と運命
経験と記憶
自立と隷属
調和と矛盾
消失と再生
空間と時間
連鎖する神秘の発端
Clock—思考のメタファー

ようこそ、『four-sight』の世界へ

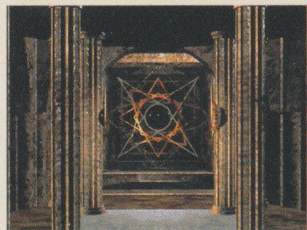
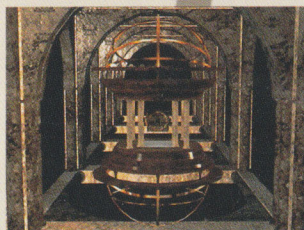
最初の部屋

オープニング・ムービーの後、最初に訪れる部屋です。正面には1枚の鏡が見えています。鏡の手前には、4つのシンボルが飾られています。4つのシンボルをひとつずつクリックしてみてください。



回廊

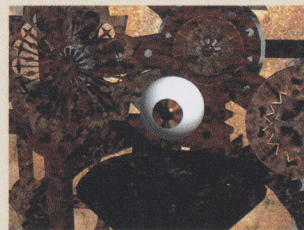
広大な通路の中央に巨大なオブジェクトが浮かんでいます。オブジェクトのそれぞれの面は、4つのシンボルと対応しています。また、この空間では「前進」「後退」「右方向」「左方向」の4方向に視点を移動することができます。好きなシンボルを選んでクリックしてみてください。



アイテム

回廊から中にはいると、内側には「Eyeball (眼球)」「Balance (天秤)」「Microscope (顕微鏡)」「Clock (時計)」といった、4つのアイテムが配置されています。どれか一つを選んでください。イベントがスタートします。

※この空間でも4方向に視点を移動することができます。

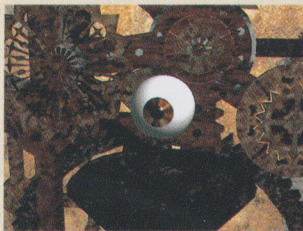




イベント

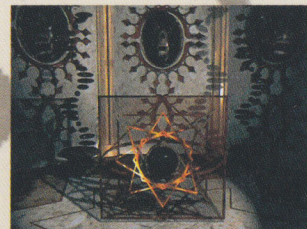
アイテムをクリックすると、イベントがスタートします。イベントには、クリックして展開するものと、自動的に再生されるムービーを楽しむものの2種類があります。

※それぞれのアイテムには [イベント1] と [イベント2] の2種類があります。



最後の部屋

[イベント1] [イベント2] の両方を終わると、「最後の部屋」に行くことができます。4つの鏡に囲まれたこの部屋に入り、床に伸びる影をクリックすると、イベントを終えたアイテムのシンボルが表示されます。4つのシンボルがすべて表示されたとき、『four-sight』の世界の秘密が解き明かされます。



『four-sight』を終了する

『four-sight』を終了したいときは、プレイ中にマウスを画面上部に移動させ、メニューバーを表示させます。プルダウンメニューから、[Quit] を選んでください。メッセージが表示されます。そのまま終了する場合は [Yes] を選んでください。『four-sight』を終了し、デスクトップに戻ります。



【サウンドの調節方法】

『four-sight』は、メニューバーを使ってサウンドのボリュームを調節することができます。ボリュームは、9段階の調節が可能です。

『four-sight』をお楽しみいただくために

■ Windows 3.1

◎ セットアップする

以下の手順に従ってハードディスクにセットアップを行ってください。

1. ディスプレイの設定を変更する

256色モード以外(16色モードや6万5千色モード、1600万色モードなど)にWindowsが設定されている場合は、[メイン]グループから[Windowsセットアップ]を実行し、以下の手順に従って256色モードに設定を変更してください。

① [Windowsセットアップ]

ウィンドウを開き、[設定]メニューから、[基本ハードウェアの変更]コマンドを選んでください(図1)。

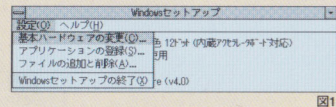


図1

② [ディスプレイ]の項目に

は現在選択されている解像度と発色数が表示されています。右にある矢印をクリックすると選択できる設定の一覧が表示されます。この一覧から[640×480/256色]のものを選択してください(図2)。

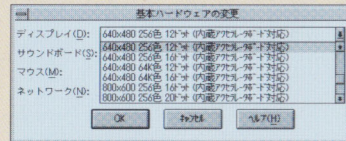


図2

③ 設定を変更したら、ダイアログボックスの[OK]をクリックしてください。

※これまでに一度この解像度に設定したことがある場合は、新しい設定に変更するかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。その時は[現在のものを使用]をクリックしてください(図3)。

※この解像度に初めて設定した場合は、Windowsのシステムディスクを指定のドライブに入れるよう求めてくる場合があります。その時はWindowsのディスクを入れ、[OK]をクリックしてください(図4)。

④ 設定が変更されたことを確認するダイアログボックス(図5)が表示されたら、[Windowsを再起動]をクリックしてください。

2. ファイルマネージャを起動する

ファイルマネージャを起動して、CD-ROMドライブのアイコンを選択してください。ルートディレクトリを選択すると、ウィンドウ内に[setup.exe]というファイルが表示されます(図6)。

※もしファイルマネージャのドライブ選択アイコンの中にCD-ROMドライブがない場合は、一度Windowsを終了し、CD-ROMドライブのマニュアルに従ってCD-ROMドライブのセットアップをした後、上記の手順を行ってください。

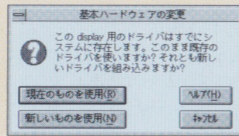


図3

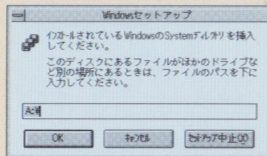


図4

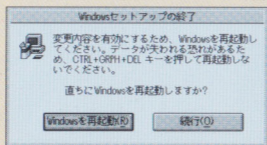


図5

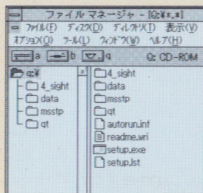


図6

3. セットアッププログラムを起動する

① [setup.exe]をダブルクリックして起動してください。このセットアッププログラムでは、あらかじめ1メガバイトほどのファイルをCD-ROMからハードディスクにコピーする必要があります。初期設定では、コピー先のドライブは[C:¥]に設定されています。[C:¥]にコピーして良い場合には、[OK]をクリックしてください。セットアップが始まります(図7)。

※[C:¥]以外のドライブにコピーする場合には、必ず1メガバイト以上の空きエリアのあるドライブを選択し、ドライブ名を書き換えてから[OK]をクリックしてください。

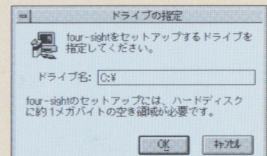


図7

② セットアップが終了すると、プログラムマネージャの中に[Synergy]という名前のグループが作成され、その中に[four-sight] [four-sight WinG] [必ずお読みください]の3つのアイコンが表示されます(図8)。

※[必ずお読みください]には、Windowsの設定などに関するとても大切な情報が記載されています。『four-sight』をプレイする前に、必ずお読みください。

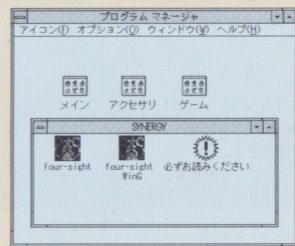


図8

4. QuickTime for Windows 2.02のインストール

[QuickTime for Windows 2.02]をお持ちでない場合には、セットアッププログラムを使用して、インストールすることができます。

プログラムマネージャから[CD-ROMドライブ:¥QTYSETUP.EXE]を起動してください。

[QuickTime for Windows]のインストールについては[セットアッププログラム]の指示に従ってください。

※この方法で1回[QuickTime for Windows]をセットアップすれば、次に[four-sight]を起動する際には、上記の手続きを省略することができます。

◎ 起動する

① セットアップが終了したら、プログラムマネージャ以外のアプリケーションをすべて終了してください。

② [SYNERGY]グループの中の[four-sight]アイコンをダブルクリックして起動してください。『four-sight』がスタートします(図9)。

※[WinG]をお持ちの方は、[four-sight WinG]から起動してください。



図9

◎ 終了する

再生中に終了するには、画面上部にあるメニューバーを使用するか、あるいはキーボード上のCTRL(コントロール)キーと[Q]キーを同時に押してください。『four-sight』が終了し、デスクトップに戻ります。

■ Windows 95

Ⓞ 起動する

ディスクをCD-ROMドライブにセットすると、ティーザー画面が表示されます。

[Set up]

クリックすると、[QuickTime for Windows 2.02]のセットアッププログラムがスタートします。

※ [four-sight]を最初にプレイするときのみ、セットアップを行ってください。

[Help]

[ヘルプ] ファイルを表示します。

[Play]

[four-sight] がスタートします。

[Exit]

クリックすると、デスクトップに戻ります。

Ⓞ 終了する

再生中に終了するには、画面上部にあるメニューバーを使用するか、キーボード上のCTRL(コントロール)キーと[Q]キーを同時に押してください。[four-sight]が終了し、デスクトップに戻ります。



[Set up]

[Help]

[Play]

[Exit]

■ Macintosh

Ⓞ セットアップする

以下の手順にしたがって、お手持ちのマッキントッシュの設定状況を確認してください。

① [QuickTime]のインストール

【680X0 Macintoshユーザーの方へ】

[System Stuff]フォルダ内の[QuickTime][Apple Multimedia Tuner]をシステムフォルダにコピーしてください。

【Power Macintoshユーザーの方へ】

[System Stuff]フォルダ内の[QuickTime][QuickTime PowerPlug][Apple Multimedia Tuner]をシステムフォルダにコピーしてください。

② [メモリ]の設定

コントロールパネル内の[メモリ]を開き[キャッシュ容量]を[128K]、[仮想メモリ]を[切]に[32ビットアドレス]を[入]に設定してください。

※機種によっては[32ビットアドレス]の選択項目が存在しない場合があります。
※Power Macintoshをお使いの方は、[モダン・メモリ・マネージャー]を[切]に設定してください。

③ [モニタ]の設定

コントロールパネルから[モニタ]を開き、[256色モード(カラー)]に設定してください。

※上記①～③の操作をひとつでもおこなった場合は、必ずマッキントッシュを再起動してください。

④ ハードディスクの空きエリアの確認

[four-sight]を起動するためには、ハードディスクに約10メガバイトの空きエリアが必要です。必ずご確認ください。

⑤ メモリ使用領域の確保

アップルメニューから“このマッキントッシュについて”を選び、[最大未使用ブロック]が[5000K]以上あることを確認してください。

※最大未使用ブロックが[5000K]に満たない場合は、メモリを増設するか、他のアプリケーションを終了し、画面上のウィンドウをできる限り閉じるなどして、[最大未使用ブロック]を確保してください。

Ⓞ 起動する

[four-sight]のディスクをCD-ROMドライブに入れ、アイコンをダブルクリックすると、デスクトップ上に[four-sight]「必ずお読みください」[System Stuff]の3つのアイコンが表示されます(図1)。

※ハードディスクなどに[four-sight]という名前をつけている場合には、別の名称に変更してください。

※「必ずお読みください」の中には、ハードウェアの設定などに関する、とても大切な情報が記載されています。[four-sight]をプレイする前に、必ずお読みください。

Ⓞ 終了する

再生中に終了するには、画面上部にあるメニューバーを使用するか、キーボード上のコマンドキーと[Q]キーを同時に押してください。[four-sight]が終了し、デスクトップに戻ります。

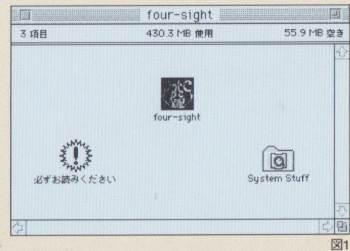


図1

Credits



Director

窪田 純子 Junko Kubota

1970年生まれ。多摩美術大学美術学部絵画科卒業。在学中よりAMIGA 2000を使用し、CGを使用したビデオ・アートを作りはじめる。'94年、株式会社シナジー幾何学に入社。CD-ROM写真集のPhotopaediaシリーズ Vol.3『STILL LIFES (スティルライフ)』の制作に参加する。初のディレクション・タイトルとなる本作『four-sight』では、色と光に対する繊細な感覚と確実なデッサン力、音色への微妙なこだわりを存分に発揮し、オリジナリティあふれる世界を構築している。

Composer

野見 祐二 Yuji Nomi

1958年生まれ。中央大学理学部卒業後、アート・パフォーマンス『おしゃれテレビ』に参加。それをきっかけに坂本 龍一との共同制作がスタートする。『子猫物語』『オネアミスの翼』『ラスト・エンペラー』など多くのサウンド・トラックの共同制作を行う。デジタルな感性とアコースティックな音色、そしてどこか懐かしさを感じさせる旋律を融合させたそのサウンドは『four-sight』の世界に、さらなる奥行きを与えている。



Computer Programming

Junko Kubota (Synergy)
Hideyuki Aida (Synergy)

Special Thanks to

Hirokazu Nabekura
Tomoyu Takagi (mail)
david

Press Agents

Eiichi Miyamori (Synergy)
Jun'ichi Sugie (Synergy)

Package Design

Junko Kubota (Synergy)
Isao Konaka (Synergy)

Hiroyuki Miura (Synergy)
Keisuke Shimada (Synergy)
Takashi Taniguchi (Synergy)
Tomohiro Yonemichi (Synergy)
Kiyoshi Shin
Masato Yamane

Production Management
Yoshie Ikeda (Synergy)

Producer

Masanori Awata (Synergy)

Created and Distributed by SYNERGY, Inc.

Copyright © 1995 SYNERGY, Inc. All rights reserved.

シナジー幾何学がお贈りするサウンド・トラック・シリーズ

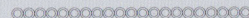


『four-sight Sound track』

(フォーサイト・サウンド・トラック)

作曲・編曲：野見 祐二

CD-ROM版『four-sight』のサウンド世界をさらに発展させた、ハイクオリティなイメージ・アルバム。今、最も注目されている作曲家・野見祐二による、オリジナル・スコア全15曲を収録。伸びやかで透明感のあるサウンドが織りなす、もうひとつの『four-sight』の世界をお楽しみください。



SYDA-002
2,800円 (税込)
好評発売中

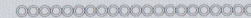


『Resonances of GADGET』

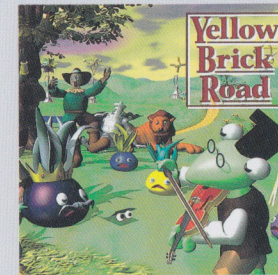
(レゾナンス・オブ・ガジェット)

作曲・編曲：上野 耕路

大人気CD-ROMタイトル『GADGET』で見事なコラボレーションを披露した、庄野 晴彦と上野 耕路。CGムービー『GADGET Trips』ではサウンド・プロデューサーに田中 信一をむかえ、さらにスリリングなサウンドを展開。国内外で高い評価を得ている、オリジナリティあふれる音楽世界を堪能できる。



SYDA-001
2,800円 (税込)
好評発売中



『Yellow Brick Road』

(イエロー・ブリック・ロード)

作曲・編曲：西田 正也

『オズの魔法使い』のキャラクターたちが活躍する3Dアドベンチャー・ゲーム『Yellow Brick Road』のイメージ・アルバム。作曲家・西田正也による、オリジナル・スコア全16曲を収録。綿密に計算された曲構成と、型にはまらないスケールの大きな音色が織りなすサウンドスケープをお楽しみください。



SYDA-003
2,800円 (予定)
'95年末発売予定



SYNERGY INC.